

注意 字数が指定されている設問については、「、」「や」。「も」「マス使

いなさい。答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

①

① 次の傍線部の言葉遣いは適当か。適当であれば○を、適当でない場合は文意を変えずに正しく言い換えて解答欄に書きなさい。

- (1) 弟に家事の手伝いをやらせさせようとした。
- (2) これ以上風邪を悪化させたくないよう、あたたかくしてすぐそう。
- (3) 苦手な虫が部屋に入ってきたので、弟に言って追い出させた。
- (4) 父が出張から予定より早く帰ってこれられることになった。
- (5) こんなに寒い中、外で二十分もバスを待っていていられそうにない。

② 次の文章を読んで作品名と作者名を次の中からそれぞれ選び記号で答えなさい。

- (1) 春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、少しあかりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。
- (2) ゆく川の流れば絶えずして、しかもとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。つれづれなるままに、日暮らし硯すずりに向かひて、心にうつりゆくよしなしことを、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。
- ア 方丈記 イ 源氏物語 ウ 枕草子 エ 徒然草
オ 清少納言 カ 鴨長明 キ 紫式部 ク 兼好法師

③ 次の文豪の書いた作品名をそれぞれ一つ答えなさい。

- (1) 宮沢賢治 (2) 夏目漱石 (3) 太宰治 (4) 芥川龍之介

② 公立高校二年生の川島みなみは、ある目的で野球部のマネージャーになる。ふとしたことでドラッカーの経営書『マネジメント』に出会い、

それを参考に野球部を強くしようと決意する。本文は、野球部の夏休み合宿最後の夜、みなみが一人食堂で『マネジメント』を読んでいるところへ、補欠部員の二階正義が入ってきた場面である。この文章を読んだ後の問いに答えなさい。

正義は、たつぷり一分近く笑っていた。

それに対し、みなみは①仏頂面になって正義をにらんでいたが、やがて笑い終わった頃合いを見計らうと、こう言った。

「何がおかしいのよ?」

「いや・・・と正義は、なおもくつくと思ひ出し笑いをしながら言った。

「女子マネージャーがマネージャーとは、最高のダジャレだと思ってさ」

「私は冗談で言ってるんじゃないのよ。②みなみは、うなるような低い声で言った。「真剣なんだから」

「あ、いやー」と正義は、今度は③アワてて言い訳するように言った。「もちろん、それは分かっているよ。おれは別に、バカにして笑ったわけじゃないぜ。真剣だというのが分かったからこそ、笑ったんだ」

「なんで真剣だと笑うのよ?」

「だって、それこそ最高のシャレじゃないか!」、正義は、【A】を輝かせながら言った。「女子マネージャーがマネジメントなんて、思いもしなかったよ。しかし、言われてみると確かに面白い。むしろ、なんで今まで思いつかなかったのか不思議なくらいだ。マネジメントは、必ずしも企業だけのものではないからね。それに、大人だけのものでもない。何より、高校野球のような④非営利組織に適用させようというのが素晴らしいじゃない

か!」

みなみには、正義が何を言っているのかはよく分からなかった。ただ、少なくとも彼がバカにしているわけではないというのは分かった。それで、一応は仏頂面を解いたのだけれど、その時ふと、あることを思いついて尋ねてみた。

「ね、一つ聞いてもいい?」

「ん?」

「あなたも、『マネジメント』を読んだことがあるんでしょ?」

「もちろん」と正義は、胸を張って言った。「それは一番初めに読んだよ。しかも、くり返し読んできた。おれは、川島が持っているその『エッセンシャル版』だけじゃなくて、最近発売された『完全版』も持っているんだぜ。」

「じゃあ、聞きたいことがあるんだけど。」

「ん?」

「⑤野球部の『顧客』って誰なのかな?」

「え?」

「私、それが分からなくて、ずっと困ってたんだ。この本にはさ、『企業目的と使命を定義するとき、出発点は一つしかない。顧客である。顧客によって事業は定義される』って書いてあるんだけど、これは顧客が誰でもどんな人であるかによって、野球部が何であって、何をすべきかが決まってくるってことだよな?そこまでは分かったんだけど、肝心の『顧客』っていうのが誰なのかが、さっぱり分からなかったんだよね。」

「ふむ」と、その質問を受けて、正義も真剣な表情になった。

「ちょっと見せて」と、みなみの持っていた『マネジメント』を受け取ると、パラパラとページをめくって、それからこう言った。

「ああ、ここ、ここ。『マネジメント』には、こう書いてある」

一九三〇年代の大恐慌のころ、修理工からスタートしてキャデラック事業部の経営を任されるにいたったドイツ生まれのニコラス・ドレイシュタットは、「われわれの競争相手は①ダイヤモンドやミンクのコートだ。顧客が購入するのは、輸送手段ではなくステータスだ」と言った。この答えが破産寸前のキャデラックを救った。わずかに二、三年のうちに、あの一大恐慌時にもかかわらず、キャデラックは成長事業へと変身した。(三五頁)

「これを参考にすれば、『顧客は誰か』っていうのも分かるんじゃないかな」
「どういうこと?」

「つまり、ドラッカーがここで言っているのは、自動車というものの定義も、単に『輸送手段』だけではないということだろう。例えばキャデラックだったら、そこに『ステータス』が加わる」

「うん」

「それが分かったのは、ニコラス・ドレイシュタットが『顧客は誰か』ということを考えたからなんだ。そして彼は、『ダイヤモンドやミンクのコートを買ってお客さん』という答えを導き出した。だから『ステータス』という定義づけをすることができたんだ。」

これと同じように、野球部の場合も、まず『顧客は誰か』というのを見極めることから始める。そうすれば、野球部が何で、何をすればいいのかわかるのも分かってくるんじゃないかな」

「うん。だからー」と⑥みなみは、ちよつと苛立たしげな顔になって言った。「その『顧客は誰か』というのが分からなくて困っているんじゃない。球場に来るファンが顧客というわけではないでしょ?分かりやすい答えが、そのまま正しいということはほとんどない、って書いてあるんだから」

しかし正義は、涼しい顔をしてこう言った。「何も堅苦しく考える必要はないよ。確かに、野球部は球場に見に来るお客さんからお金をもらっているわけじゃないけど、それでも、タダでやっているわけじゃないだろ?ちゃんと、野球をやるためにお金を出してくれた

り、お金は出さないまでも協力してくれている人たちがいるじゃないか」
そう言われて、みなみは全く不意に、そういう人たちがいるということに初めて思い至った。

「あー」
「だから、そういう人たちを野球部の顧客と考えればいいんだ。彼らなしには、野球部は成り立たないからね」

「あ……あ……」と、みなみは興奮したように正義を見た。「そうなる」と、例えば『親』が顧客ということになるの？親が学費を払ってくれてるから、私たちは学校に行けるし、部活動もできてるわけだ」

「そうだな」と正義は答えた。「それから、野球部の活動に⑩携わってる『先生』たちや、『学校』そのものも、顧客ということになるだろうな。」

「だったら、その学校にお金を出してる『東京都』も顧客ということになるよね？」

「うん。その東京都に税金を払っている、『東京都民』も顧客だ」

「なるほど！」と、みなみは興奮して大きくうなずいた。「あ、じゃあ『高校野球連盟』も顧客かな？彼らが、甲子園大会を運営してくれてるわけだから」

「そう。それに全国の『高校野球ファン』も、やっぱり顧客ということになる。ぼくらは、彼らから直接お金をもらって居るわけじゃないけど、彼らが興味を持って球場に【B】を運んでくれたり、新聞の記事を読んだり、テレビを見たりしてくれたりするおかげで、スポンサーがお金を出して、そのお金で甲子園大会が運営されているわけだからね」

「ふむふむ、そうなんだ……そう考えると、高校野球に携わるほとんど全ての人を、顧客ということができるよね」

①この時、みなみの頭の中にはもやもやするものが芽生え始めていた。それは予感だった。「野球部とは何か」ということの定義を導き出せそうだと感じる感觸だった。

それは、いつもの直感だった。いつもの直感で、みなみは、自分がその答えにあと一步のところまで来ていることを感じたのだ。

しかしその答えは、なかなかはっきり姿を現そうとしなかった。なかなか具体的にならなかった。

おかげで、みなみはイライラさせられた。それは、喉元まで出かかった人の名前がなかなか思い出せないような感觸だった。

——ああ、もうここまで出てるのに！
と、そう思った時だった。正義がこんなことを言った。

「それから、忘れちゃいけないのは、ぼくたち『野球部員』も顧客だということだな」

「え？」とみなみは、驚いた顔で正義の顔を見た。「どっこういうこと？」
「だってそうだろう。正義は、当たり前のことを言うような顔で言った。『ぼくたち部員がいなければ、野球部なんて成り立たないわけだから。それに高校球児が一人もいなくなれば、甲子園大会だって成り立たない。だから、ぼくたち部員というのは、野球部の従業員であると同時に、一番の顧客でもあるわけだ』」

その瞬間だった。みなみは、頭の中のもやもやが一気に晴れたような感觸を味わった。それと同時に、喉元まで出かかっていたその答えが、はっきりと姿を現した。分かってかかっていた野球部の定義というものを、具体的に認識することができたのである。

「感動！」

とみなみは叫んだ。それで正義は、びっくりした顔でみなみを見た。

「え？な、何……？」

みなみは、そんな正義に勢い込んで言った。

「そうよ！『感動』よ！①顧客が野球部に求めていたものは『感動』だったのよ！それは、親も、先生も、学校も、都も、高野連も、全国のファンも、

そして私たち部員も、みんなそう！みんな、野球部に『感動』を求めているの！」

「ふむ……なるほどー」と正義は、しばらく考えてからこう言った。

「その解釈は面白いね。確かにそういう側面はある。『高校野球』と『感動』は、切っても切り離せないものだからね。高校野球の歴史そのものが、感動の歴史と言っても過言ではない。高校野球という文化は、これまで多くの感動を生み出してきた。だからこそ、ここまで広く、また深く根づいたというのがあるだろうからね」

「そうよね！合ってるよね！」とみなみも、興奮して激しくうなずきながら言った。「私、知ってるの。一人、野球部に感動を求めている顧客がいることを！そうなんだ、彼女が顧客だったんだ。そして、彼女が求めているものが、つまり野球部の定義だったんだ。だから、野球部のすべきことは、『顧客に感動を与えること』なんだ。『顧客に感動を与えるための組織』というのが、野球部の定義だったんだ！」

「もし高校野球の女子マネージャーが

ドラッカーの『マネジメント』を読んだら」岩崎夏海

*ドラッカー……アメリカの経済学者。

① 傍線部②③④の、カタカナは漢字に直し、漢字は読みを答えなさい。
② 【A】【B】に、それぞれ文意に合うように漢字一字を当てはめて答えなさい。

③ 「⑥みなみは、うなるような低い声で言った」とあるが、みなみがこのように言った理由を本文中の語句を用いて十五字程度で答えなさい。
④ 「④非営利組織」を意味するアルファベットとして適当なものを一つ選び記号で答えなさい。

A PLO イ NPO ウ IOC エ OPEC
⑤ 「⑤野球部の『顧客』って誰なのかな？」とあるが、本文の内容から「顧客」として当てはまらないものを一つ選び記号で答えなさい。

A 親 イ 東京都民 ウ ペット エ 先生
⑥ 「①ダイヤモンドやミンクのコート」で用いられている修辞法の種類を、次の中から一つ選び記号で答えなさい。

A 直喩 イ 擬人法 ウ 枕詞 エ 暗喩

⑦ 「⑧みなみは、ちよつと奇立たしげな顔になって」とあるが、この時のみなみと対照的な正義の表情を五字以内で抜き出して答えなさい。

⑧ 「①この時、みなみの頭の中にはもやもやするものが芽生え始めていた」とあるが、「みなみ」の「もやもや」を解消するきっかけになったことを簡潔に答えなさい。

⑨ 「①顧客が野球部に求めていたものは『感動』だったのよ」とあるが、みなみがこのように言った理由を簡潔に答えなさい。

⑩ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

一九九二年、当時CDC（アメリカ疾病予防管理センター）のセンター長だったデイビッド・サッチャー博士は、「emerging and re-emerging infectious diseases」という言葉を初めて使った。日本語では「新興・再興感染症」と訳されている。「emerge」とは英語で「出現する」という意味である。サッチャー博士はこのとき、「過去二十年ぐらいいの間に新しく出現、または再出現した感染症が多くあります。それらの感染症に対してもつときちんと対応すべきです」と主張した。そして一九九三年九月、WH

○(世界保健機関)と米科学者協会は「新興・再興感染症に対する地球規模の監視体制の確立が急務である」とする声明を発表し、翌一九九四年にCDCはWHOとともに国外に向けて新興・再興感染症の危険性をあらためて警告した。

こうした背景の中で、新たに出現したウイルスは「エマージング・ウイルス」という④ソウショウウでよばれるようになった。現在からさかのぼると、この三十年あまりに出現したエマージング・ウイルスは、主なものだけでも二十種類以上あることが明らかになっている。*倉田博士は「一九六七年に出現したマールブルグウイルスあたりが、エマージング・ウイルスの原点ではないでしょうか」と語っている。すでに紹介したエボラウイルスやHIV、複数の肝炎ウイルスは、大変重大視されているエマージング・ウイルスである。

(中略)

人類は古くから数多くの感染症に悩まされてきた。【A】二〇世紀に入って抗生物質が発見されると、細菌による感染症で死に至るケースは激減した。また、一九八〇年にはWHOが天然痘ウイルスの撲滅を宣言した。そのころから、研究者たちは「感染症の脅威は過去のものである」と認識するようになった。

しかしそれは大きな誤解だったのだ。⑥そう気づいたときには、感染症をめぐる事態はかなり深刻になってしまっていた。倉田博士は次のように語る。「かつての天然痘への対応は、感染症の重要な教育の場でした。しかし、もう一度感染症対策を見直そうとしたとき、感染症の専門家はすでに現場をはなれていました。また、抗生物質の濫用で、結核菌や腸球菌など、多くの細菌に薬剤耐性菌があらわれました。【B】、熱帯雨林への侵入、人口増加などによる公衆衛生環境の悪化、大量物資の高速輸送などによって、未知のウイルスが猛威をふるうようになりました。こうしたことすべてが、③感染症が再び深刻化しはじめた原因なのではないでしょうか。さまざまエマージング・ウイルスの出現について、「ウイルスがやってくるのではない。①人類がウイルスのすみかを荒らしている結果だ」というのが、大方の研究者の見方である。エマージング・ウイルスはもともと、熱帯地域の森林に生息するサルやネズミ、コウモリなどを自然宿主にしていたと考えられている。最近まで深い森の中に密閉されていたため、私たちの前に姿をあらわすことはなかった。しかし、人口の急増や干ばつがきっかけ、人々は農地拡大や木材確保のための大規模な森林伐採を行うようになった。その代償として、私たちは封印されていたウイルスに遭遇するようになってしまったのだ。

『致死率が高い、ワクチンがない、治療法がない』といった*センサーショナルな報道によって、多くの人がエマージング・ウイルスに対して③カジヨウな恐怖感をいだいています。【C】これからも新しいウイルスはつぎつぎ出現してくるでしょう」と倉田博士は語る。「しかし」と倉田博士はつづける。「病原性が強くても空気を感染しないものであれば、不用意におそれる必要はありません。【D】、どうすれば感染を防げるのかという情報がなかなか普及しないのが現状です。エマージング・ウイルスが日本で出現する可能性は低いと思いますが、今は航空機などでウイルスが世界中へ運ばれてしまう時代です。日本も不測の事態に対応できるシステムをつくっておくべきです。」

環境破壊による生態変化がつづくかぎり、人類とウイルスとの敵対関係は続く。ウイルスは非常に多様で適応力が強いので、生態変化に合わせて変異してしまうのだ。変異は病気を引きおこす方向に進みやすいわけではないが、今後、ウイルスをめぐる問題はより多くなると考えられる。ワクチン接種をはじめとする集中的な取り組みにより、ポリオやはしかは近い将来に根絶されるといわれているが、感染後も体内に①センブクしつづけるウイルスや、ヒト以外にも宿主をもつウイルスは根絶できる可能性は低い。

倉田博士も「エマージング・ウイルスを天然痘ウイルスのように根絶することは不可能だと思います。国や研究者は、出現の監視や警告、正しい情報提供を⑧アツテイして行うべきでしょう。それを受けて、①各自が自覚をもって行動することが求められています」と語る。ウイルスは地球上に生命が誕生したときから存在していると考えられている。ある意味では、生物進化のパートナーだったのだ。ここで今、あらためてウイルスとの共存の道を模索すべきときがきているのではないだろうか。

Newton 別冊 ウイルスと感染症 高森圭介 発行

*倉田博士：国際医療福祉大学の教授、倉田毅博士。

① 傍線部④、⑥、⑦、⑧のカタカナを漢字に直して答えなさい。
② 【A】〜【D】に当てはまる語を次の中からそれぞれ選び記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二度以上使って答えることはできない。

ア ただ イ ところが ウ さらに エ たしかに
③ 「⑥そう」の指し示す内容を、解答欄に合うように本文中の語句を用いて三十五字以内で答えなさい。

④ 「③感染症が再び深刻化しはじめた原因」に当てはまらないものを次から一つ選び記号で答えなさい。

ア 人口増加などにより公衆衛生環境が悪化したこと。
イ 感染症の専門家が現場をはなれていたこと。
ウ 細菌による感染者数が激減したこと。
エ 多くの薬剤耐性菌が出現したこと。

⑤ 「①人類がウイルスのすみかを荒らしている結果」とはどういうことか。本文中の語句を用いて五十五字程度で答えなさい。

⑥ 「①各自が自覚をもって行動すること」について次の文を読み、後の(1)〜(3)の問いにそれぞれ答えなさい。

今日流行している新型コロナウイルスによる感染症を予防するためには、フヨウフキユウの外出を控え、「三密」と言われる、密閉、密接、()ア()を回避し、人と接する時はマスクを着用して、「社会的距離」である、()イ()を取るような心がけることが大切である。

(1) 傍線部「フヨウフキユウ」を漢字に直して答えなさい。

(2) 空欄アに入る語を、漢字二字で答えなさい。

(3) 空欄イに入る語を、カタカナで答えなさい。

⑦ 本文の内容に合っているものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。
ア 日本では未知のウイルスが出現する可能性は低く、感染症の問題を深刻に受け止める人は他国よりも少ない。

イ エマージング・ウイルスの感染を抑制するためにも、人類は環境破壊の問題を早期に解決しなければならない。

ウ ウイルスは非常に多様で適応力が強いので、今日人類はウイルスとの共存の道を検討する必要性に迫られていると言える。

エ 人類と敵対関係にあるウイルスは、ワクチン接種によって近い将来に根絶することができると考えられている。

4 あなたの二〇二〇年を四字熟語で表現し、どのような一年だったのか百字程度で書きなさい。

